

# 個別施設計画

策定年月 H30.1

施設名	勝間田高等学校		所在地	勝田郡勝央町勝間田47		
敷地面積	3,578,182.44 m <sup>2</sup>		棟数	104 棟 (計画記載対象 24 棟)		
延床面積	28,202.49 m <sup>2</sup>			※対象は200m <sup>2</sup> 以上の建物(車庫、倉庫等は500m <sup>2</sup> 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため					
<b>【想定される自然災害】</b>						
予想震度 5弱                      津波 -                      浸水 -						
建築規制	第二種中高層住居専用地域 建ぺい率60%、容積率200%					
エネルギー使用量 (2016年度)	電気 255,877 kwh	ガス 89 m <sup>3</sup>	水道 6,255 m <sup>3</sup>	燃料(灯油) 13,297 0		
管理上の特記事項	敷地内未利用地 71,323.62m <sup>2</sup> 敷地内貸付地 なし 勝央町避難所 協定による避難所					

## 1 施設内建物の概況

名称	体育館棟(93棟)25	教室棟(95棟)1-1	教室他棟(105棟)1-2
築年(西暦)	1960年	1962年	1963年
構造	鉄骨造 2階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	877.08 m <sup>2</sup>	303.83 m <sup>2</sup>	482.55 m <sup>2</sup>
延床面積	1013.79 m <sup>2</sup>	917.82 m <sup>2</sup>	1,453.98 m <sup>2</sup>
主要な用途(室名等)	体育館	化学・生物教室 会議室	校長室 事務室 教務室
主要な設備(屋外を含む)	-	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	不適
	中性化 ※3	不適	不適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況(劣化が進んでいるもの)	該当なし	消火設備	消火設備

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適    ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適    ※4 傾斜が有る場合は不適    ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	特別教室棟(106棟)2	教室他棟(113棟)3	演習林実習室棟(131棟)75
築年(西暦)	1964年	1965年	1968年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄骨造 1階
建築面積	281.55 m <sup>2</sup>	397.67 m <sup>2</sup>	230.48 m <sup>2</sup>
延床面積	844.65 m <sup>2</sup>	1,192.10 m <sup>2</sup>	230.48 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	調理実習室 被服実習室	マーケティング講義室 保健室 普通教室	演習林実習室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備	空調設備 消火設備	給排水設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	不適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	消火設備	外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	格技場棟(132棟)23-1	農業実験室棟(135棟)77-1,2	農業実習室棟(137棟)79
築年(西暦)	1969年	1973年	1976年
構造	鉄骨造 1階	鉄骨造 2階	鉄骨造 1階
建築面積	200.10 m <sup>2</sup>	403.80 m <sup>2</sup>	340.00 m <sup>2</sup>
延床面積	200.10 m <sup>2</sup>	805.80 m <sup>2</sup>	340.00 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	格技場	農業機械実習室 生物活用実習室	農業実習室
主要な設備 (屋外を含む)	—	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備	—
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果 $I_s$ 値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	作物農業機械実習室棟(143棟)84	格技場棟(147棟)23-3	林業等実験室棟(149棟)87
築年(西暦)	1979年	1971年	1980年
構造	鉄骨造 1階	鉄骨造 1階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	250.00 m <sup>2</sup>	239.25 m <sup>2</sup>	528.00 m <sup>2</sup>
延床面積	250.00 m <sup>2</sup>	239.25 m <sup>2</sup>	924.00 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	農業実習室 農機具実習室	格技場	農林土木実習室 食品加工実習室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備	—	消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	不適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	図書館・会議室棟(151棟)88-1	歴史資料室棟(152棟)88-2	実習棟(158棟)92
築年(西暦)	1981年	1981年	1987年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 1階	鉄骨造 1階
建築面積	m <sup>2</sup>	215.42 m <sup>2</sup>	565.22 m <sup>2</sup>
延床面積	423.36 m <sup>2</sup>	215.42 m <sup>2</sup>	565.22 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	図書室 会議室	歴史資料室	機械工作実習室 原動機実習室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	消防設備(自動火災報知設備)
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果 $I_s \geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	材料試験実習室棟(162棟)93	農場管理棟(163棟)94	林業実習棟(164棟)95
築年(西暦)	1988年	1991年	1993年
構造	鉄骨造 2階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	331.54 m <sup>2</sup>	236.70 m <sup>2</sup>	473.93 m <sup>2</sup>
延床面積	658.77 m <sup>2</sup>	709.43 m <sup>2</sup>	871.84 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	材料試験実習室 生徒作業準備室	農業管理実習室 バイオ実験室 農業経営実習室	林産加工実習室 測量実習室 林産化学実験室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備)	—	—
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	体育館棟(166棟)97	部室・更衣室棟(180棟)103-1,2	農業機械実習室棟(182棟)104
築年(西暦)	1995年	1998年	2000年
構造	鉄骨造 2階	鉄骨造 2階	鉄骨造 1階
建築面積	1366.86 m <sup>2</sup>	237.71 m <sup>2</sup>	252.00 m <sup>2</sup>
延床面積	1545.66 m <sup>2</sup>	475.41 m <sup>2</sup>	252.00 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	体育館	体育器具庫 部室・更衣室	農業機械実習室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	—	—
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	食品製造実習室棟(184棟)106	実習棟(190棟)107	農業機械室棟(192棟)109
築年(西暦)	2003年	2006年	2010年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄骨造 1階	鉄骨造 1階
建築面積	277.92 m <sup>2</sup>	629.50 m <sup>2</sup>	231.00 m <sup>2</sup>
延床面積	555.84 m <sup>2</sup>	629.50 m <sup>2</sup>	231.00 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	農産加工実習室 製菓製パン実習室	動力実習室 整備実習室	農業機械室
主要な設備 (屋外を含む)	—	—	—
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適



## 2. 対応方針

### (1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

### (2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
体育館棟(93棟)25	予防保全を図る。
教室棟(95棟)1-1	設備等の定期更新を行う。(耐用年数まで使用したのちに改築等を検討する。)
教室他棟(105棟)1-2	設備等の定期更新を行う。(耐用年数まで使用したのちに改築等を検討する。)
特別教室棟(106棟)2	予防保全を図る。(耐用年数まで使用したのち、改築等を検討する。)
教室他棟(113棟)3	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
演習林実習室棟(131棟)75	予防保全を図る。
格技場棟(132棟)23-1	長寿命化改修を行う。
農業実習室棟(135棟)77-1,2	長寿命化改修を行う。
農業実習室棟(137棟)79	予防保全を図る。
作物農業機械実習室棟(143棟)84	長寿命化改修を行う。
格技場棟(147棟)23-3	長寿命化改修を行う。
林業等実習室棟(149棟)87	長寿命化改修を行う。
図書館・会議室棟(151棟)88-1	長寿命化改修を行う。
歴史資料室棟(152棟)88-2	長寿命化改修を行う。
実習棟(158棟)92	設備等の定期更新を行う。
材料試験実習室棟(162棟)93	設備等の定期更新を行う。
農場管理棟(163棟)94	設備等の定期更新を行う。
林業実習棟(164棟)95	設備等の定期更新を行う。
体育館棟(166棟)97	設備等の定期更新を行う。
部室・更衣室棟(180棟)103-1,2	予防保全を図る。
農業機械実習室棟(182棟)104	予防保全を図る。
食品製造実習室棟(184棟)106	設備等の定期更新を行う。
実習棟(190棟)107	予防保全を図る。
農業機械室棟(192棟)109	予防保全を図る。

### 3. 施設全体のスケジュール

#### (概要)

- 1 設備等更新  
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修  
中性化対策・屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。  
(149棟)2017年度施工  
(132棟、147棟)2018年度設計、2019年度から施工  
(143棟)2020年度以降設計・施工  
(135棟)2022年度以降設計・施工  
(151棟、152棟)2024年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
体育館棟(93棟)25	予防保全	予防保全を図る。									
教室棟(95棟)1-1	設備等の定期更新	屋上防水									
教室他棟(105棟)1-2	設備等の定期更新	屋上防水									
特別教室棟(106棟)2	予防保全	予防保全を図る。									
教室他棟(113棟)3	設備等の定期更新			トイレ洋式化			屋内消火栓				
演習林実習室棟(131棟)75	予防保全	予防保全を図る。									
格技場棟(132棟)23-1	長寿命化改修		設計	施工							
農業実験室棟(135棟)77-1,2	長寿命化改修						設計・施工 1				
農業実習室棟(137棟)79	予防保全	予防保全を図る。									
作物農業機械実習室棟(143棟)84	長寿命化改修				設計・施工						
格技場棟(147棟)23-3	長寿命化改修		設計 132棟に含	施工 132棟に含							
林業等実験室棟(149棟)87	長寿命化改修	施工 2									
図書館・会議室棟(151棟)88-1	長寿命化改修								設計・施工 1		
歴史資料室棟(152棟)88-2	長寿命化改修								設計・施工 151棟に含		

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
実習棟(158棟)92	設備等の定期更新			屋上防水・外壁改修 自動火災報知設備							
材料試験実習室棟(162棟)93	設備等の定期更新			屋上防水・外壁改修 自動火災報知設備							
農場管理棟(163棟)94	設備等の定期更新					屋上防水・外壁改修					
林業実習棟(164棟)95	設備等の定期更新								屋上防水・外壁改修		
体育館棟(166棟)97	設備等の定期更新			外壁改修							
部室・更衣室棟(180棟)103-1,2	予防保全	予防保全を図る。									
農業機械実習室棟(182棟)104	予防保全	予防保全を図る。									
食品製造実習室棟(184棟)106	設備等の定期更新				屋上防水						
実習棟(190棟)107	予防保全	予防保全を図る。									
農業機械室棟(192棟)109	予防保全	予防保全を図る。									

#### 4. 概算費用

・総額 7億円(長寿命化改修 6億円、設備等更新 1億円)

## 5. 変更履歴

変更年月	変更内容
H31.3	教室他棟(113棟)において、設備等の定期更新を追加
R2.3	食品製造実習室棟(184棟)において、設備等の定期更新を追加